

子どもの第三の居場所 放課後児童クラブ

令和4年4月から、高富児童館の指定管理者である私たちNPO 法人かばさんファミリーが、放課後児童クラブの運営を行っています。

放課後は、子どもたちにとってとても大切な時間と考えています。学校とも家庭とも違う第三の居場所。家庭や学校とは違う顔を見せる場所でもあります。子どもたちは「遊び」を通して、自主性、主体性を育て想像力を育みます。また、多学年が一緒になって活動することで、小さな1年生がお兄さんやお姉さんの遊んでいる姿に刺激され、さまざまなことにチャレンジするようになります。放課後という短い時間ですが、子どもたちにとって、楽しく有意義な時間になるように、サポートしていきたいと思っています。

コロナ禍にあって、制限の多い中、子どもたちが楽しく過ごせるよう工夫していきたいと思っています。今後は感染状況も見ながら、地域の中の児童館として、地域の人たちとの交流や、散策なども計画していきたいと考えてます。

放課後児童クラブの申請については、放課後児童クラブの事務局である子どもげんきはうすに問い合わせてください。

高富子どもげんきはうす TEL23-2323



地域包括支援センターだより

高富南部地域包括支援センター TEL22-6886
高富北部地域包括支援センター TEL52-3340

認知症について学んでみませんか

認知症の人やその家族は、常に不安や戸惑いを抱えて生活しています。周囲の人が認知症を理解し、その人ができない部分を補うサポーターになることができれば、認知症の人が住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができます。認知症に対して正しく理解し偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守ることがサポーターになるための第一歩です。認知症は誰でもなる可能性のある病気です。いつ自分や家族、あるいは友人や知り合いが認知症になるか分かりません。

認知症の人やその家族の応援者として、認知症サポーター養成講座を受講してみませんか。また、認知症の人と生活していく中で、関わり方のヒントなどを共有できる認知症カフェに足を運んでみませんか。

詳しくは各地域の包括支援センターまで問い合わせてください。



— 連載 —
山県市の
貴重な文化資産

12 「七色桂」跡地

市内には先人から受け継がれてきた貴重な文化資産が数多くあります。その文化資産を知り、次世代につないでいきましょう。

園生涯学習課文化財調査室 Tel 32-9008



篠座神社に伝わる桂の木



リニューアルした案内看板

葛原地区には、以前、七色桂という県指定の天然記念物がありました。七色桂は、杉、檜、桜、蔦、いもの木、つたうるし、やぶこうじの七種類の木が寄生した桂の木です。七色桂と呼ばれるようになったのも、これら七色の木が寄生して、一本で森のようになったからだと言われています。高さ24メートル、目通り8メートルもあった巨大な樹木で、葛原の人々からは「大桂」と呼ばれ、代々親しまれていました。

そんな七色桂ですが、台風などの影響を受け、残念なことに現在に残っていません。

最近、現地の案内看板をリニューアルしました。現地で想像力を膨らませると、目の前に大樹の面影をしのぶことができます。

跡地のすぐ近く、篠座神社には昭和初期に七色桂の一部を移植したと伝わる桂の木があります。まさに七色桂の分身とも言える木です。

今はまだ見ることのできない文化財ですが、七色桂は形を変えて今も生き続けています。

岐阜連携都市圏を知ろう！ ②4

住み続けたいまち 岐阜連携都市圏を目指して

岐阜市、羽島市、山県市、瑞穂市、本巣市、岐南町、笠松町および北方町では、岐阜連携都市圏を形成しています。このコーナーでは、5市3町のことを知っていただくため、各市町のおすすめ情報をお届けします。

今月は、瑞穂市を紹介します。

—— 瑞穂市のおすすめ情報 ——



サンコーパレットパーク(中山道大月多目的広場)オープン



「いつでも、誰でも利用できる芝生を中心とした広場」をコンセプトに、瑞穂市に新たなランドマークが誕生しました。市のキャラクター「かきりん」がいっぱいの遊具やドームシェルター、広大な芝生広場、ウォーキングコース、ゲートボール場など、子どもからお年寄りまで楽しめる魅力ある広場です。隣には子ども図書館である瑞穂市図書館分館もあります。ぜひお越しください。なお、芝生広場の開放は6月からとなります。

▶住所 瑞穂市大月1276番地

☎瑞穂市教育委員会生涯学習課(楽南庁舎) Tel 058-327-2117